

札幌市立西岡北中学校

4月18日(木)、中学校3年生を対象に実施された上記調査の本校の調査結果の概要等をお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面でありますので、ご理解ください。

【概要の見方】

- 質問紙調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生徒の諸活動、家庭生活、地域との関わり等に関するものです。本校生徒の状況について説明が必要と考えた事項の状況について示しています。数値は、「当てはまる」「どちらかと言えば、当てはまる」の肯定的回答の生徒の割合を示しています。
- 教科に関する調査(国語、数学、英語)は区分及び領域に関する概要を示しました。そして、本校の教科正答率と全国の平均正答率と比較し、その差を以下のように表現しています。また、「課題」は本校全体の課題としてとらえ、全学年を通じて改善していくものとし、「改善の方向」として具体的な改善策を検討したものです。

・+3.1 ポイント以上⇒「上回っている」
・+3.0 ポイントの範囲内で全国平均以上⇒「ほぼ同程度であるが、やや上回る」
・-3.0 ポイントの範囲内で全国平均以下⇒「ほぼ同程度であるが、やや下回る」
・-3.1 ポイント以下⇒「下回っている」

<質問紙調査>

本校の子どもたちに育みたい資質・能力に関連する項目()は昨年の数値

質問事項	本校	全国	全国平均との差
●自分には、よいところがあると思いますか。	73.0(70.5)	74.1(78.8)	-1.1(-8.3)
●1, 2年生で受けた授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	69.6(66.6)	74.8(74.9)	-5.2(-8.3)
●生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	62.9	72.8	-9.9
	※今年度初めて質問事項となった項目		

- 本校では、①「自己を見つめ、自分のよさを把握すること」②「主体的に楽しみながら学ぶこと」③「他と協働して学び、そのよさを理解すること」の三つを子どもたちに育みたい資質・能力として挙げています。①に関しての質問「自分には、よいところがあると思いますか。」②に関しての質問「1, 2年生で受けた授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」は、いずれも、昨年度よりも改善傾向が見られ、全国平均との差も縮まっています。③に関しての質問「生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」は、今後も継続した課題として捉えています。

回答状況が良好な項目

質問事項	本校	全国	全国平均との差
●ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	91.8	93.9	-2.1
●人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	91.2	94.3	-3.1
●学校の規則を守っていますか。	95.3	96.2	-0.9

達成感、規範意識、自己有用感、については、肯定的な回答がいずれも90%を超えています。

今後の課題となる項目

●家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	43.4	50.4	-7.1
●地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。	39.9	39.4	+0.5

学習習慣、地域や社会に関わる活動等に課題が見られます。これらは、全国的にも課題になっています。

その他・全国と比較して顕著な項目

●読書は好きですか。	73.7	68.0	+5.7
●難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。	71.7	70.3	+1.4
●新聞を読んでいますか。	23.7	12.7	+11.0

※参考：札幌市の数値 読書は好きですか 72.7% , 新聞を読んでいますか 13.9%

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

- 「話すこと・聞くこと」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

- 「書くこと」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

- 「読むこと」
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。

- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
 - ・ 全国平均を上回っている。

- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつこと。

- 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと。

- 封書の書き方を理解して書くこと。

- 話合いをする際には、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加し、必要に応じて話題についての確認をし、記録をとるなど経過を捉える指導の充実。

- 説得力のある文章にするために、自分の考えを支える根拠を明確にして書いたり、自分の考えを支える根拠として、複数の実例や専門的な立場からの知見などを示したりする指導の充実。

- 手紙の基本的な形式に基づき、文字の大きさや配列に注意するなどして丁寧に読みやすく書く指導の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

中学校
数学

【領域】

□「数と式」

- ・ 全国平均を上回っている。

□「図形」

- ・ 全国平均を上回っている

□「関数」

- ・ 全国平均を上回っている。

□「資料の活用」

- ・ 全国平均を上回っている。

- 数に関する性質を考察する場面において、目的に応じて文字式を変形したり、その意味を読み取ったりして、性質が成り立つ理由を説明すること。

- 日常生活や社会の事象について1次関数を用いて数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

- 資料の傾向を読み取るなどの問題解決をするために、どの「代表値」を用いるべきかを判断すること。

- 予想した事柄が成り立つ理由を説明するために、式をどのように変形すればよいかの見通しをもって、文字式や言葉を用いて根拠を明らかにして説明する活動の充実。

- 身近な具体的な事象における問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、表、式グラフの「何」「どのよう」に用いたのかを説明する活動の充実。

- 資料の傾向を読み取るために目的に応じて収集したデータを度数分布表やヒストグラムに表わす。さらに、データの分布の様子を捉えた上で、目的に沿う「代表値」を用いてデータの傾向を見出す活動の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【領域】

□「聞くこと」

- ・ 全国平均を上回っている。

□「読むこと」

- ・ 全国平均を上回っている。

□「書くこと」

- ・ 全国平均を上回っている。

- 英語を聞いて把握した内容について、適切に応じること。

- 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えること。

- 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くこと。

- 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くこと。

- 話し手の依頼や提案等を明確におさえて、どのような応答がふさわしいのかを考え、自分の意見を表現させる指導の工夫。

- 読んだことについて、主体的に考えたり、判断したりして理解する。そして、読んだ内容について、自分の考えを整理して述べる活動の充実。

- 基本的な語や文法事項等を正しく用いて、伝えたい内容が読み手に伝わるように正確に文を書く指導の充実。

- 「話して書く」「読んで書く」等の領域を統合した指導の充実。

- 英文を読み合い、よりよく読み手に伝わるように書く指導の充実。

【参考】

□「話すこと」領域

※「話すこと」領域の平均正答率については、今回は「参考値」として扱うよう国から示されているため、全国平均との比較は行わず、設問ごとの分析から分かる、課題と改善の方向のみ掲載しております。

- 聞いて把握した内容について、やり取りすること。

- 既習の教科書を用いて、本文中の会話にどのような継続・発展させる方法が使われているか生徒に振り返らせたり、気付かせたりすることを通して、自らやり取りを継続する活動の工夫。